

第 72 回接続料の算定等に関する研究会の議論を踏まえた
 KDDI 株式会社への追加質問及び回答
 (モバイル接続料の検証関係)

問 1 株式会社NTTドコモ説明資料 P. 3 の形式にならい、データ接続料(回線容量単位)に係る予測値と実績値の比較が出来るよう数値を示して下さい。

(佐藤構成員)

(KDDI 回答)

○

	予測値 (20 年度算定)	21 年度実 績値	差異 (20 年 度算定・21 年度実績)	前回におけ る差異 (19 年度算定・ 20 年度実 績)
原価 [億円]				
利潤 [億円]				
需要 [Gbps]				
接続料単価 [万円/10Mbps・月]	26.8	22.5	▲16%	▲9%

構成員限り

※

構成員限り

問2 問1で示されたデータ接続料（回線容量単位）の原価の差分について、
 このうち「施設保全費」と「減価償却費」においても予測値と実績値の比較
 ができるよう数値を示して下さい。

（佐藤構成員）

（KDDI 回答）
 ○

	予測値（20 年度算定）	21 年度実 績値	差異（20 年 度算定・21 年度実績）	前回におけ る差異（19 年度算定・ 20 年度実 績）
原価〔億円〕				
施設保全費〔億円〕				
減価償却費〔億円〕				

構成員限り

※ 構成員限り

問3 株式会社NTTドコモ説明資料 P.5 の形式にならい、データ接続料（回線容量単位）に係る予測値と予測値の比較が出来るよう数値を示して下さい。

（佐藤構成員）

（KDDI 回答）

○

	2022 年度算定（今回）			2021 年度算定（前回）			差異	
	23 年 度	24 年 度	25 年 度	22 年 度	23 年 度	24 年 度	23 年 度	24 年 度
原価[億円]								
利潤[億円]								
需要[Gbps]								

構成員限り

※ 構成員限り

問4 問3で示されたデータ接続料（回線容量単位）の原価の差分について、
 このうち「施設保全費」と「減価償却費」においても予測値と予測値の比較
 ができるよう数値を示して下さい。

（佐藤構成員）

（KDDI 回答）

○

	2022 年度算定（今回）			2021 年度算定（前回）			差異	
	23 年 度	24 年 度	25 年 度	22 年 度	23 年 度	24 年 度	23 年度	24 年度
原価〔億円〕								
施設保全費 〔億円〕								
減価償却費 〔億円〕								

構成員限り

※ 構成員限り

問5 一般社団法人テレコムサービス協会MVNO委員会説明資料 P.4 に示されている冗長構成に関するイコールフットィング確保の提案について、どのように考えるか。

(佐藤構成員)

(KDDI 回答)

- 冗長構成の考え方は、MNO、MVNO 各社の運用ポリシーに関わるものであり、各社がどれだけの品質を確保するかによっても異なってくることから、MNO と MVNO 間や MVNO 各社間で必ずしも平仄を合わせなくてもよいと考えます。

構成員限り

問6 事業者へのヒアリングを通じて、音声サービスについては品質確保のために優先通信を行っており、こうした点を配賦基準の議論の中で考慮すべきとの意見があった。具体的にどのような考え方に基づいて配賦基準に QoS の考え方を反映することが適当と考えるか。計算式やその根拠とともに示してください。

(酒井構成員)

(KDDI 回答)

- QoS を考慮することについては既に NGN のコスト配賦において議論されたこともあり、移動体事業者のコスト配賦においても、その考え方を整理したう

えで反映することは一定の合理性はあると考えます。

- なお、現時点において計算方法や根拠について、弊社では具体的な考えは持ち合わせておりません。

構成員限り